

## 平成30年度協働事業提案制度提案概要 (提案企画書から転記)

事業名	出張型(巡回型)ひろば事業
団体名	子育て支援ワーカーズ ほっとまむ
事業概要	北広島市は地域間の交通の便が悪く、自家用車でなければ市の子育て支援センターや児童センターなどの施設の利用が難しい地域がある。そのような地域に出向き、親子や小学生が気軽に集い遊べる場所を提供する。 当団体運営のトイライブラリーもくていの貸出コーナーをひろば内に設ける。また、市民ボランティアスタッフを募り、様々な世代が交流できる場とする。
協働の必要性	子育て世代が住んでいる地域には必要なコミュニティ事業であると考え、自己資金や市補助金等さまざまな助成も活用し開催してきたが、収益性が求められない事業であることから、継続開催のための運営資金の視点及び、市施設まで来ることが出来ない地域の子育て環境の拡充の視点から協働事業として提案に至った。
役割分担	<input type="checkbox"/> 団体が担う役割 ①会場の手配 ②ひろば実施に関する準備、搬出入、設営、スタッフ配置など ③来場者の情報管理 ④チラシ作成等の広報活動 ⑤地域のニーズ調査(アンケート実施) <input checked="" type="checkbox"/> 市に期待する役割 ①会場費や出張旅費、保険料などの経費及び人件費の支援 ②周知するための広報の協力 ③必要な地域(巡回先)の選定
協働の効果	<input type="checkbox"/> 団体にとっての効果 ①経費等の資金面の支援を受けることで、事業を継続的かつ広い範囲で実施できる。 ②より多くの地域の親子と出会い、当団体を知ってもらうことができる。 <input checked="" type="checkbox"/> 市にとっての効果 ①市で設置している施設でカバーしきれていない地域の親子や子どもたちの居場所づくりの拡充が図れる。 ②少数のニーズにも応えることができる。 ③市全体に子どもたちの居場所がある、きめ細かいまちづくり。 ④地域の親子の声をキャッチし、困りごと等の相談事案を関係機関につなげるなど必要な情報を伝えることができる。
団体の目的	①子どもと子ども・親と親・そして子どもと大人が出会う場所(ひろば)に集うことで、子育ての悩みや成長の喜びを共有しあい、その心地よさと心強さを感じてほしい。 ②親子で楽しく遊べるひろばを中心とした活動を通して、地域に見守られた人とかかわり合う子育ての良さを伝えいく。 ③子どもの成長を見守り親子の気持ちに寄り添いながら、安心して子育てができる地域づくりを目指す。
過去の活動実績	①巡回型ひろば「ひろばDEもくていたいむ」開催 6回 参加169名 ②体験遊びとおもちゃ貸出「ほっとまむトイ・ライブラリーもくてい」開催 76回開催、来室組数 延べ279組、貸出数290点 ③広報活動: ポスティング、チラシ回覧 ④産前産後サポート
市関係希望部署	子育て支援部(子ども家庭課)、子育て支援センター、教育委員会(社会教育課) 希望理由: ひろばの来場対象が、乳児・幼児・小学生・その保護者のため。

平成30年度協働事業提案制度提案概要  
(提案企画書から転記)

事業名	プレーパーク推進事業
団体名	きたひろプレーパークの会
事業概要	プレーパーク(冒険遊びの場)の開催、プレーリーダーの養成、プレーパーク普及のための勉強会の企画、開催を目的とする。 市民にとってはプレーパークでの自由な遊びから様々な経験と達成感が得られること、少子化の中で閑散としがちな公園の活性化が事業効果として期待できる。
協働の必要性	現在プレーパークを開催しているが、開催にかかる保険料等の経費が負担になっている。 また、遊びを見守り安全に気を配るプレーリーダーを配置できず手探りでの開催となっている。 協働することでプレーパークの継続性を高め、プレーリーダーを配置したプレーパークを開催したい。またプレーリーダーの養成もおこないたい。
役割分担	<input type="checkbox"/> 団体が担う役割 ①プレーパークの企画、開催等 ②プレーリーダー養成講座の企画、開催等 <input checked="" type="checkbox"/> 市に期待する役割 ①プレーパーク開催にかかる保険料等の費用の負担 ②プレーリーダー養成講座にかかる費用の負担 ③チラシの配布協力等
協働の効果	<input type="checkbox"/> 団体にとっての効果 ①市と協働することによってプレーパーク開催の継続性を高めることができる。 ②プレーリーダー養成講座を開催することによって、プレーリーダーを置くことができるようになるという効果が期待できる。 <input checked="" type="checkbox"/> 市にとっての効果 ①子どもの遊ぶ場や公園の活性化 ②「北広島市子どもの権利条例」に規定された「3.教育を受けたり遊んだりできる、健やかに育つ権利」の具現化について、ひとつの例をつくることができる。
団体の目的	子どもの「遊ぶ」という行為の保障のため、次の各号に掲げることに注意を払い、プレーパークの開催その他の活動を行うことを目的とする。 ①誰でも、いつでも、遊び場に来て自由に過ごすことができる。 ②身近な地域に根ざした遊び場の創出 ③子どもが自由に想像しつくりかえのできる要素がある物品や場所の提供 ④多世代交流の場及び誰もが自己肯定感を得ることができる場の創出
過去の活動実績	①月寒プレーパークの会視察 ②プレーパークの実践 ・2017.10.15 大人28名 子ども42名 ・2018.1.21 大人14名 子ども20名 ・2018.3.18 大人18名 子ども18名
市関係希望部署	教育委員会(社会教育課)、子ども家庭課、 希望理由:遊びを通して子どもの健やかな育ちを実現する趣旨であるため。